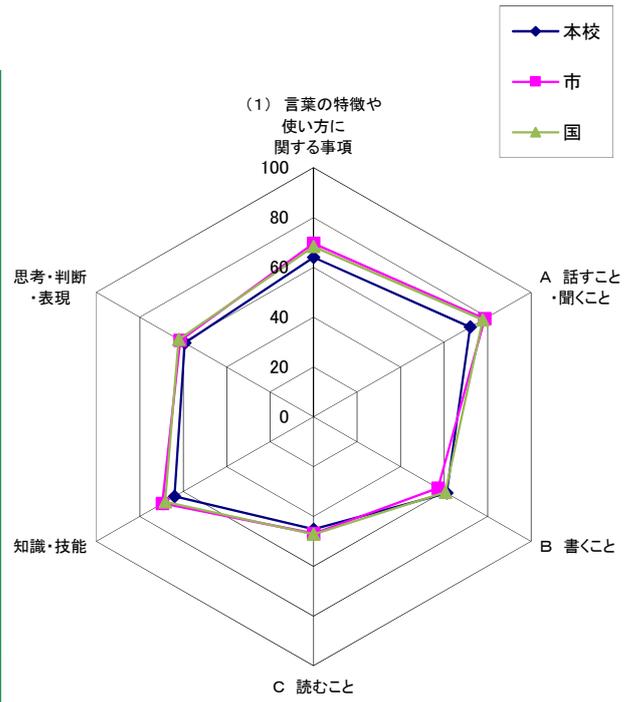


宇都宮市立東小学校第6学年【国語】分類・区分別正答率

★本年度の国、市と本校の状況

【国語】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域等	(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項	64.0	69.6	68.3
	(2) 情報の扱い方に関する事項			
	(3) 我が国の言語文化に関する事項			
	A 話すこと・聞くこと	72.0	78.7	77.8
	B 書くこと	61.3	57.3	60.7
	C 読むこと	45.2	46.9	47.2
	観点	知識・技能	64.0	69.6
	思考・判断・表現	59.3	61.4	62.1
	主体的に学習に取り組む態度			



★指導の工夫と改善

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項	<p>平均正答率は、64.0%と市の平均を5.6ポイント下回った。 ○適切な主語を選ぶ問題では、正答率が83.9%と県の正答率を12ポイント、国の正答率を16.9ポイント上回っている。 ●漢字の書き取りは、すべての問題で県や国の正答率を下回っている。無回答の割合も多く、漢字の習得が不十分な児童が見られる。文章中の「すぐに」が詳しくしている言葉を選択する問題は、正答率が29.0%と県の正答率を19.5ポイント、国の正答率を14.6ポイント下回った。</p>	<p>○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの</p> <p>・全学年の漢字を正しく書いたり読んだりすることができるよう、漢字ドリルやプリントを活用し定着を図る。 ・語句の役割や語句相互の関係に気を付けながら文章を読んだり、書いたりできるよう引き続き指導していく。</p>
A 話すこと・聞くこと	<p>平均正答率は、72.0%と市の平均を6.7ポイント下回った。 ○スピーチの内容として適切なものを選択する問題は、80.6%の児童が正答していた。 ●スピーチメモの構成の説明として正しいものを選択する問題では、正答率が67.7%と県の正答率を9.1ポイント、国の正答率を9.8ポイント下回っている。また、資料提示の適切な理由について選択する問題では、正答率が67.7%と県の正答率を5.7ポイント、国の正答率を7.2ポイント下回っている。</p>	<p>・スピーチ等話す場面において、目的に応じ、相手に伝えたいことが明確に伝わるようにするための構成や的確な資料提示などを国語の学習だけでなく、様々な学習場面において指導していく。</p>
B 書くこと	<p>平均正答率は61.3%であり、市の平均を4ポイント上回った。 ○「文章の構成についての説明として適切なものを選択する」問題では、正答率が71.0%であり、県の正答率を9ポイント上回っている。 ●「文章を詳しく書き直す」問題では、正答率が51.6%であり、県の正答率を7.8ポイント下回っていて、課題が見られる。文章を書く際に、意見を書くことができるが、その理由が十分に書き表せていない児童が多かった。</p>	<p>・目的や意図に応じて、理由を明確にししながら、自分の考えが伝わるように文章を書くことができるように指導する。授業で文章を書く際には、意見とその理由を書くように徹底する。また、その文章を児童同士で読み合い、その文章で自分の伝えたいことが相手に伝わったかを確認させる。 ・問題では4つの条件(意見・理由・引用・文字数)を満たして書くように指示されていた。普段から条件作文に慣れさせ、必要な条件を満たして文章を書けるように指導する。</p>
C 読むこと	<p>平均正答率は、45.2%と市の平均を1.7ポイント下回った。 ○説明文全体の構成をとらえ、内容の中心となる事柄を把握する設問では、80%以上の児童が理解していた。 ●説明文資料中の文章と図表を結び付けて必要な情報を目的に応じて見付けること、説明文の中心となる語や文を見付けて要約することに課題が残った。</p>	<p>・説明文の指導を行う中で、各段落の関係や文章全体の構成をとらえ、叙述に沿った読みができるよう指導を継続していく。また、説明的な文章に触れる機会を多く設けるために、学校図書館司書や司書教諭と連携を図り、図書室を有効に利用していく。</p>